

AIの勝負はモデルからワークフロー完結へ： Genspark創業陣が描く「次のAIサービス」の 条件と産業構造の転換

Gemini 3.7 Flash

1. 序論：基盤モデル至上主義の限界と業務実装の断絶

生成AIの登場以降、テクノロジー産業の関心はパラメータ規模やベンチマークスコアを競う基盤モデル（Foundation Model）の開発競争に集中してきた¹。ChatGPT、Gemini、Claudeに代表される主要モデルは急速な進化を遂げ、流暢な文章生成、高速な情報探索、高精度なプログラミングコードや画像の生成が実用段階へと到達した¹。しかし、モデル単体の知能が飛躍的に向上したにもかかわらず、実務現場における知的生産業務のプロセスそのものは抜本的な変革に至っていない¹。このモデル性能と現場の実効生産性との間に横たわる構造的ギャップを捉え、急速な市場牽引力を見せているのが、元マイクロソフトおよび百度（Baidu）の検索・AI幹部によって2023年12月に米シリコンバレー（パロアルト）で設立されたMainFunc社と、同社が展開するAIプラットフォーム「Genspark」である²。共同創業者兼CEOのエリック・ジン（Eric Jing）氏をはじめとする創業陣は、「AIの勝負はモデル単体の性能では終わらない」と提唱し、技術の重心がモデル知能そのものから、業務ワークフローをいかに自然かつ低負荷で完結させるかという「オーケストレーションと文脈保持」へ移行したことを主張している¹。

本報告書では、Genspark創業陣が指摘する現行生成AIの構造的欠陥、同社が500万ユーザーを擁したAI検索機能を自ら打ち切ってまで敢行した自律型ワークスペースへのピボット、中核技術「SecondBrain」による持続的コンテキスト保持のメカニズム、そして日本市場への3年間1億ドル（約150億円）投資を含む事業戦略を総合的に分析し、次世代AIサービスに求められる要件と産業構造の転換を解明する¹。

2. Genspark創業陣が解剖する現行生成AIの3大構造的課題

MainFunc創業陣は、現在のAIがビジネス現場で真のROI（投資対効果）を生み出せていない根本原因として、モデルの能力不足ではなく、ユーザーとモデルを媒介するインターフェースおよびシステム設計の欠陥を挙げている¹。彼らの洞察は、以下の3つの本質的な課題に集約される¹。

記憶の欠落と「ニワトリの記憶力」問題

エリック・ジンCEOは、現在のLLMの動作様式を「天才だがニワトリの記憶力で働いているような状態」と表現している¹。基盤モデル自体は高度な推論力と膨大な知識を保有しているものの、セッションが数ターン進むか別スレッドに遷移するだけで、会話の背景、組織の優先順位、利用者の職責といった文脈を忘失してしまう¹。その結果、利用者はプロンプトを入力するたびに「自分が誰であり、どのような業務目的で、何を前提としているか」を繰り返し説明し直す認知負荷を強いられている¹。ジン氏は、現在のチャットボット利用の実態を「AIに質問し、返ってきた回答をコピー＆ペーストして人間が手作業で仕上げる『AI支援の雑務』にすぎず、真の業務変革ではない」と批判している²。

探索価値からタスク完結価値へのシフト

共同創業者兼COOのウェン・サン氏は、「人は単に情報を知るためだけではなく、仕事を終わらせるために情報を求めている」と論じている¹。従来のウェブ検索や初期のAI検索においては、目的のデータや回答に迅速に到達すること自体が価値であった¹。しかし知的労働の実務において情報収集は単なる起点にすぎず、その後に「情報を精査・判断し、ドラフトを作成し、チームと合意形成を図り、次の実務フェーズへ引き渡す」という一連のパイプラインが存在する¹。この一貫したワークフロー全体を代行・完結できない限り、AIは業務プロセスの中で分断された単なる「便利な部品」にとどまり続ける¹。

モデル進化とユーザー受容能力の乖離

共同創業者兼CTOのカイ・ジュー氏は、「AIモデルの能力は1～2年前に比べて格段に強化されたが、一般の利用者がその潜在能力を正しく評価し、実務で引き出すことは極めて難しい」と指摘している¹。基盤モデルが進化するにつれてプロンプト設計やモデル選定の複雑性が増し、結果として利用者に高度な操作リテラシーを要求する構造が生まれている¹。モデルの知能向上とユーザーの実用体験との間に存在するこの深い溝を埋める仕組みこそが、現在のAI市場における最大のミッシングリンクとなっている¹。

3. 検索の自己否定と自律型ワークスペースへの戦略的ピボット

Gensparkは2024年6月のサービスローンチ時、クエリに応じて複数の情報源を自律探索し、統合された単一の構造化Webページを生成する「Sparkpage」を主軸とした次世代AI検索エンジンとして市場に登場した⁷。同サービスは公開から約9か月で月間利用者数500万人を突破し、急速な支持を獲得した⁶。

しかし2025年春、CTOのカイ・ジュー氏は「従来のAI検索はすでに陳腐化しつつある」との声明を発表し、成功を収めていたAI検索プロダクトを自ら終了（Kill）させる決定を下した⁶。情報探索機能そのものはChatGPT SearchやGeminiなどの大手プラットフォームに標準機能として統合されコモディティ化が進むと判断し、情報収集から判断、そして最終成果物の生成までを自律的に遂行する「エージェント型AIワークスペース」への完全なピボットを選択した⁶。

比較評価項目	従来型Web検索（Google等）	回答特化型AI検索（Perplexity等）	自律型AIワークスペース（Genspark等）
主要な提供価値	関連Webリンク一覧の網羅的提示 ¹⁰	質問に対する直接的要約回答と出典提示 ¹³	業務課題の自律分解と完成された成果物の生成 ⁵
ユーザーの介在負荷	複数サイトの巡回・閲覧・手作業での情報抽出 ¹³	追加プロンプトによる深掘り、外部ツールへの転記 ²	目的・ゴールの自然言語指示と最終レビュー ²

コンテキスト保持力	セッション間での記憶なし(都度検索)	スレッド内の一時的文脈保持 ¹⁵	業務履歴・社内情報をクラウド上で永続保持 ¹⁶
最終生成物	検索結果ページ(リンク集)	テキスト要約、インライン引用 ⁸	スライド、表計算モデル、Webページ、動画 ⁵
バックエンド機構	検索インデックスとランキングアルゴリズム	単一LLMまたは選択式LLMによるRAG処理 ¹³	70種以上のモデルを動的統括するMoA基盤 ⁵

この転換により、Gensparkは「検索エンジン」の枠組みを脱却し、単一の指示から最終成果物を自律的に納品する知的生産プラットフォームへと再定義された²。

4. Genspark 6.0のアーキテクチャ解析とコンテキスト統合機構

2026年夏に発表された最新バージョン「Genspark AI Workspace 6.0」は、単発的な対話インターフェースを排し、業務文脈を定常的に維持しながらマルチエージェントを自律制御する4層構造のアーキテクチャを採用している¹⁷。

アーキテクチャ階層	構成要素・モジュール	実装技術と機能的役割
第1層: 記憶基盤	SecondBrain	クラウドメモリー、データ連携コネクタ、SecondBrain Note (ハードウェア) ¹⁷
第2層: 自律頭脳	Super Agent	Mixture-of-Agents (MoA)、自律プランナー、ツール実行環境 ⁶
第3層: 成果物生成	Deliverable Suites	Build Suite、Office Suite (AI Sheets 2.0、AI Slides等)、Content Suite ⁴
第4層: 協働環境	GenTeam	AI Inbox、チームコラボレーション、エージェント共有管理 ⁴

持続的メモリー基盤「SecondBrain」とハードウェアの統合

Genspark 6.0の中核を担う「SecondBrain」は、単なるチャット履歴のログ蓄積ではなく、組織や個人に散在する多次元データを集約し、AIが常に参照可能な状態を維持する持続的文脈基盤である¹⁶。

Google Workspace、Microsoft 365、Slack、CRMなどの社内ツールと連携し、進行中のプロジェクトの前提条件や人間関係のコンテキストをリアルタイムで同期する⁵。

さらにMainFunc社は、オフライン空間における対話や会議の文脈を捕捉するため、薄型アルミニウム製AIボイスレコーダー「SecondBrain Note」(本体価格約179～199米ドル、Bluetooth 6.0対応)を独自開発した²¹。対面会議や商談の音声を自動で文字起こし・構造化し、クラウド上のSecondBrainへ即座に統合する¹⁷。これにより、AIは「過去の会議での合意事項」や「クライアント固有の懸念点」を事前に把握した状態で、商談前のブリーフィング資料作成や商談後のフォローアップメール起草を自律実行できるようになる¹⁷。

Mixture-of-Agentsによる自律協調と成果物生成

ワークスペースの実行エンジンである「Super Agent」は、単一のLLMに処理を依存せず、Mixture-of-Agents (MoA) フレームワークを通じて70種類以上のモデルを動的にオーケストレーションする⁵。高度な論理的推論には推論特化型モデル、即時応答には軽量モデル、スライドやWebデザインには画像・レイアウト特化型モデルを自動で割り振る⁵。ユーザーは自然言語で最終目標を1度指示するだけで、AIがタスクを自動分解し、サブエージェント群が並列処理を行って完成成果物を生成する²。

5. 資本市場におけるトラクションと日本市場への戦略的投資

自律型エージェント・ワークスペースへのピボット以降、MainFunc社はAIスタートアップとして異例の成長速度を記録し、資本市場から大規模な資金調達を実現している³。

調達ラウンド	実施時期	調達額 / 評価額	主導投資家および事業進捗
Seed Round	2024年6月	調達額: \$60M (約95億円) 評価額: \$260M ⁴	Lanchi Venture Capital等。AI検索サービスとして創業 ⁴ 。
Series A相当	2025年2月	調達額: \$100M 評価額: \$530M ⁴	AIエージェント基盤の先行研究開発を加速 ¹⁰ 。
Series B Round	2025年11月	調達額: \$275M 評価額: \$1.25B ⁴	ユニコーン企業に到達。Super Agentローンチに伴いARRが急伸 ⁴ 。
Series B Extension	2026年6月～	調達総額: \$485M～\$645M 評価額: \$2.6B～	SBI Investment、LG Technology Ventures等。企業導入数が急増 ⁴ 。

		\$4.1B ¹⁰	
--	--	----------------------	--

同社は「Super Agent」の提供開始からわずか9日間でARR(年間経常収益)1,000万ドルを突破し、約12か月でARR 2億5,000万ドル(約396億円)に到達した¹⁰。注目すべきは、この事業規模を約70名という極めて少人数の組織で運営している点であり、自社開発の自律エージェントを社内オペレーションに全面適用することで高い資本効率を達成している¹⁰。

グローバル展開において、同社は日本を北米に次ぐ最重要拠点と位置づけている⁴。2026年7月に都内で開催された記者会見において、創業陣は今後3年間で日本市場へ1億ドル(約150億円)を投資する成長戦略を公表した¹。東京都港区虎ノ門に日本法人を構え、国内のエンタープライズ顧客に向けた「Genspark Enterprise」の導入を推進している⁵。少子高齢化に伴う労働力不足が深刻化する日本市場では、単なるチャットボットではなく実務を直接代替するエージェントへの需要が極めて高く、SBIインベストメントをはじめとする国内資本の支援を受けながら、ゼロデータ保持ポリシーや法人向けSLAに準拠したセキュアな導入を進めている⁴。

6. 次世代AIサービスが満たすべき3つの必須条件と実運用上の課題

Gensparkのプロダクト哲学と急激な市場浸透は、今後のAIアプリケーション市場における競争優位性の源泉がどこへシフトするかを明確に提示している¹。モデルの汎用化とコモディティ化が進む中で、次世代AIサービスがプラットフォームとしての地位を確立するためには、以下の3つの条件を満たすことが不可欠である¹。

持続的競争優位性を構築する3つの設計思想

第一の条件は、プロンプトの再入力を不要にする「持続的コンテキスト基盤(Context Retention)」の保有である¹。セッションを超えてユーザーの業務履歴、組織構造、意思決定の癖を蓄積し、事前の説明なしに意図を汲み取るメモリーレイヤーが存在することで、他社ツールへの乗り換え障壁(スイッチングコスト)が形成される¹⁶。

第二の条件は、特定のLLMに依存しない「動的オーケストレーション機構(Model-Agnostic Orchestration)」の実装である⁵。最先端モデルの勢力図は数か月単位で変動するため、自社モデルのみに固執するアーキテクチャは急速に陳腐化するリスクを負う⁵。多様な外部モデルを用途ごとに選別・協調動作させるMixture-of-Agents基盤を持つことが、常に最高性能の知能をユーザーに提供し続けるための前提となる⁵。

第三の条件は、情報探索から最終成果物までを垂直統合する「アウトカム直結型デリバリー(Outcome-Driven Delivery)」の確立である¹。要約テキストの提示という中間工程を排し、そのまま実務で使用可能なスライド資料、数式が埋め込まれた表計算シート、Webページといった最終成果物フォーマットを一気通貫で出力しきる設計が、業務変革を実現する決定打となる²。

実装・運用における経済的・技術的ボトルネック

一方で、自律型AIワークスペースの実装には運用上の課題も存在する¹¹。複数モデルの並列稼働や高度なメディア生成は膨大なコンピュータコストを伴うため、利用プランにおけるクレジット消費の激しさや、タスク実行失敗時の課金透明性に関してユーザーから懸念が示されるケースがある¹¹。また、生成されたプレゼンテーション資料や表計算ファイルのエクスポート時におけるフォーマット崩れや、組織固有の微細なニュアンスの反映精度などは、エンタープライズ全面導入に向けた継続的な技術

改善領域となっている¹¹。

7. 結論: コンテキスト獲得とワークフロー統合を巡る覇権争い

Genspark創業陣が描く未来図は、AI産業の価値創造レイヤーが「基盤モデルの事前学習競争」から「コンテキストの獲得とワークフローの垂直統合」へと決定的に移行した現実を物語っている¹。

基盤モデルがどれほど高度な知能を獲得しようとも、業務の前提や文脈を保持できない構造にとどまる限り、知的労働者が抱える煩雑な作業負担を根本から解消することはできない¹。持続的なメモリ基盤によってユーザー固有の業務文脈を蓄積し、最適な複数モデルを束ねて自律的に成果物を完結させるプラットフォームこそが、ポスト・チャットボット時代における真のデファクトスタンダードとなる¹。Gensparkが日本市場で展開する3年間1億ドルの投資計画は、この新たな産業構造における主導権争いがすでにグローバル規模で本格化していることを明確に証明している¹。

引用文献

1. AIの勝負はモデルでは終わらない、Genspark創業者が描く「次のAI」,
<https://forbesjapan.com/articles/detail/103707>
2. エージェント型AI Genspark(ジェンスパーク)とは? - TechHarmony,
<https://blog.usize-tech.com/waht-is-ai-genspark/>
3. Gensparkが日本へ1億ドル投資しAI展開を加 - AIVox,
<https://ai-vox.net/news/c5fcd27e-bece-4426-95ac-37314f536c2d>
4. Mainfunc — Unicorn company profile - Dealroom.co,
<https://dealroom.co/companies/mainfunc/>
5. <https://forbesjapan.com/articles/detail/103709>
6. Why I Killed Our AI Search Product With 5 Million Users? - Genspark,
<https://www.genspark.ai/blog/genspark-kill-aisearch>
7. GensparkのAIエージェントとは? 特徴やできることをわかりやすく,
<https://biz.moneyforward.com/ai/basic/5877/>
8. Gensparkの使い方を完全解説 | 登録から資料作成・AIエージェント,
<https://ai-search.techsuite.co.jp/12798/>
9. Former Baidu Executive Launches MainFunc AI Company With \$60,
<https://www.moomoo.com/news/post/39674604/former-baidu-executive-launch-es-mainfunc-ai-company-with-60-million>
10. How Genspark reached a \$4.1 billion valuation with 70 employees,
<https://note.com/yutaronia/n/n33948a3e6863?hl=en>
11. Genspark AI review 2026: is the Super Agent worth it? - eesel AI,
<https://www.eesel.ai/blog/genspark-ai-review>
12. 【2026年版】ChatGPTより便利かも!? AI検索エンジンおすすめ6選,
<https://ai.oversea.tokyo/2026/01/22/chatgpt%E3%82%88%E3%82%8A%E4%BE%BF%E5%88%A9%E3%81%8B%E3%82%82%E2%81%89%E3%82%8F%E4%B8%8F%E6%A4%9C%E7%B4%A2%E3%82%A8%E3%83%B3%E3%82%B8%E3%83%B3%E3%81%8A%E3%81%99%E3%81%99%E3%82%81%E9%81%B8%E3%80%902026/>
13. 【2026年8月最新】AI検索エンジンとは? 仕組み・従来検索との違い,
<https://genai-ai.co.jp/ai-kanri/blog/cc-ai-search-engine-3/>
14. ChatGPTとPerplexityの性能・料金・使い方を徹底比較,

- <https://biz.moneyforward.com/ai/basic/2064/>
15. 12 Best Perplexity AI Alternatives in 2026 (Tested and Ranked),
<https://storyflow.so/blog/best-perplexity-alternatives-2026>
 16. Gensparkが描く“第二の脳” AIの記憶課題を解決する新ワークスペース,
<https://www.pc-webzine.com/article/3928>
 17. <https://forbesjapan.com/articles/detail/103708>
 18. 【2026年最新】Gensparkの評判は？3ヶ月使って分かった強みと弱み,
<https://ai-search.techsuite.co.jp/12879/>
 19. GensparkのSecondBrainとは？AIの「記憶レイヤー」を公式情報と,
https://qiita.com/Tadataka_Takahashi/items/70012868477bf2cefbcb6
 20. Genspark、大型アップデート「AIワークスペース 6.0」を発表,
<https://ai.watch.impress.co.jp/docs/news/2126695.html>
 21. Genspark AI ワークスペース 6.0 が登場,
<https://www.genspark.ai/ja/blog/genspark-ai-workspace-6>
 22. シリコンバレー発の次世代AIワークスペースGenspark - PR TIMES,
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000013.000176655.html>
 23. Genspark Shop - SecondBrain Note, <https://shop.genspark.ai/ja-jp>
 24. 『AIは賢くなった、だが"文脈"は持っていない、Genspark 6.0が』,
<https://b.hatena.ne.jp/entry/s/forbesjapan.com/articles/detail/103708>
 25. Genspark Secures \$60 Million in Seed Round - The SaaS News,
<https://www.thesaasnews.com/news/genspark-secures-60-million-in-seed-round/>
 26. MainFunc - 2026 Company Profile, Team & Funding - Tracxn,
https://tracxn.com/d/companies/mainfunc/_zTwJf0yVNhisu9qRrO7G-cxxal4DSKHtmTlzwPMJKWM
 27. AI Startup 'Genspark' Becomes a Unicorn—A Look at the 'Task ... - note,
https://note.com/ai_curator/n/n7560bc88385e?hl=en
 28. 会社概要 | Genspark for Business【公式】,
<https://www.genspark.ai/ja/business/company>
 29. 無料AIオフィスGenOffice登場 | 開発は1週間 | AIフレンズ,
<https://aifriends.jp/genspark-genoffice-open-source-ai-office/>
 30. AIスタートアップ「Genspark」がユニコーン企業に—わずか20,
https://note.com/ai_curator/n/n7560bc88385e
 31. 【2025年12月】Gensparkは商用利用できるのか？利用規約をもとに,
<https://blue-r.co.jp/blog-genspark-commercial-use/>
 32. Gensparkがユニコーン入りと「AI Workspace」を発表 | お嬢税理士,
<https://ameblo.jp/hana-taxlaw/entry-12947567097.html>